

横浜災害ボランティアネットワーク会議

平成 27 年度 第 3 回運営委員会について報告します。

日 時	平成 27 年 7 月 29 日(水) 18:00~20:00
会 場	横浜市健康福祉総合センター 8 階 会議室 8F
参加者	鶴見区災害ボランティアネットワーク (運営委員長) 南区災害救援ボランティアネットワーク 港南区災害ボランティアネットワーク 磯子区災害ボランティアネットワーク 金沢区災害ボランティアネットワーク 泉区災害ボランティア連絡会 瀬谷区災害ボランティアネットワーク オブザーバー:横浜市市民局市民活動支援課 事務局:横浜市ボランティアセンター

【議題 1. 平成 27 年度総会および会員向け研修会の振り返りについて】

・資料 1 をもとに事務局より説明

《意見等》

- ・総会のあり方について→特になし。
- ・研修会→もう少し質疑応答の時間があると良かった。
 - 総会が迫る中での短い時間の中で行っているため難しい部分があった。
 - これをふまえて改めてお話いただいてもいいのでは。

【議題 2. ニュースレターNo.53 の発行について】

- ・8 月発行予定の No.53 号の内容について検討。
- ・今回より、会員ごとに持ち回りで記事を掲載。
- ・鶴見区、金沢区、戸塚区、保土ヶ谷区の記事を掲載する予定だったが、保土ヶ谷区については後日区内で検討をした結果、今回に関しては掲載を見送りたいとの申し出があった。そのため、もう 1 団体の掲載を新たに考えなければならない。
 - 市域団体での掲載を考えてほしい。手があがらないから見送るのではなく、事務局から指名して書いてもらうのもいいのでは。
 - (事務局より)事務局としては、運営委員の相違でどこか指定していただければそこにあたることはできる。
 - ・ガールスカウトはどうか。
 - ・今回は締め切りが迫っているので、次号移行で調整した方がいいのでは。
 - ・(事務局より)ガールスカウトにお願いするか、次号移行で調整するか、二案が出ているが、どちらにするか。

- ・配布先には会員以外の広く一般の方も含まれているのか。それならば広報としての役割をもたせるのも良い。
 - ・個人会員の募集や会費で成り立っているなどの表現を入れてもいいのでは。
 - ・今回は区域団体、次回は市域団体とする案もある。
 - ・テーマでまとめる。今年度は子どもに関する事業をやるのなら、“子ども”に関するテーマで掲載していくのも良い。広報誌としての統一性がない。
- 今回は、ガールスカウトにまず声をかける。ガールスカウトの掲載が難しければ、次を考慮することとする。**

- ・各区ごとに記事のテーマを統一にするか、それとも各区ごとにテーマを設定して書くか。
 - 共通のテーマは設定せずに、各区ごとに書くのでいいのではないか。
 - 横浜前提の記事にした方が良いか。他都市のものでもいいか。静岡など。
 - (事務局)特に縛っているわけではないので、運営委員会で今後ご検討いただきたい。
- ・災害時にそれぞれがどういう動きをするのか分かっていない。それについての情報がほしい。
 - (事務局)昨年度末に市域団体へのアンケート調査を行った。この結果をもとに記事を作成している手もある。
 - アンケートを受けて、この結果を膨らませて書いてくださいと各団体にお問い合わせすれば、すぐ記事を書いてもらえるのでは？
- ・「市災ボラとは何か？」と聞く人もいる。
 - カラーの関係図(ホームページ?)を何かに載せたことがある。
 - 今更聞けないようなことを知るきっかけになる。

≪今回の記事は・・・≫

- ・**まずはガールスカウト。その結果にもよるが、残りのスペースについてはネットワークの関係の説明や、他都市の実践事例の紹介などを検討する。**

【議題3. 支援者向けコーディネートスキルアップ研修について】

- ・年間計画では10～11月ごろに行う予定。講師と内容で要望があれば伺いたい。
- ・内容の方向性を考えないと決めにくい。例えば精神面のケアの話など。
 - 心理学の人や被災者からの話。
 - ・これまでは社協職員などの支援をしてきた人からの話が多かった。被災した人の話を聞いてそのうえでどう支援していくか考える。
 - ・被災者の話もいいが、先日消防団の話を聞いた。どう移り変わっていくか、生の声を聞くのもいいのでは。
 - ・人じゃなくてもいい。本や記録などから抜き取って、テーマについて話をする。

・想定は東日本大震災か？

→横浜での災害というと、イメージ的には阪神大震災の方が近い。都市災害としてどう捉えるか。

《今回の研修は…》

阪神大震災の線で探していく。

日程は、10/27(火)を候補とする。

【議題4 こども災害ボランティアコーディネーター講座について】

- ・実施にむけて今後考えていきたい。実行委員会を立ち上げるよりは、運営委員会の場で 前年度に関わっていただいた方を中心に検討していきたい。
- ・名称もあわせて検討していく。

《意見等》

- ・本番までにプレとして小さいプログラムをやりたい。意識の高い子どもを集めて討論会を行い、その結果をニュースレターに載せるのはどうか。
- ・こども版クロスロードを学校にやりに行って(一校か二校)、12月の講座への参加を促したい。

【報告事項1 ブロック別連絡会開催状況】

○Bブロック

- ・6月に戸塚区でブロック内の合同訓練を行った。
- ・次回は10月に栄区で行う予定。

○Cブロック

- ・7/30に行う予定。
- ・前年度の振り返りや今後の方針を出せると良い

【報告事項2 その他】

○県災ボラ報告

- ・コミュニティカレッジを実施。6回シリーズ。今年は既に3回終了。初級向け。
- ・ブロック単位で会議を行う予定。9月は西湘ブロック。一番活発なのは県央ブロック。ブロック単位で連絡網を作る。横浜は個人が独自で入っており、ネットワークとしてつながっていない。
- ・高校生のボランティア。昨年は鶴見高校41名。今年も夏に派遣する。県下6高が石巻に行き石巻西高校と神戸の高校とで交流を行う。

○泉区

- ・地区センターでシミュレーション行う。約 60 名集まる。年内にもう 1 回行いたい。災害ボランティアとはどのようなものか知ってもらう機会にしたい。

○南区

- ・シミュレーションに関しては基本的にはマニュアル通りにやる。情報の動き、帳票の動きを明確にする。見える形で動いているのを確認できるように。
- ・ボランティアセンターが必要とするハザードマップを作る。
- ・一回目のクロスロードを行う。今回は委員の中で行ったため、その他の人にも広めていきたい。

○磯子区

- ・9/23 にシミュレーション。PR 不足が問題。連合町内会長会でお願いし、全掲示板にチラシを貼ることとした。

○瀬谷区

- ・シミュレーション。一般対象と災ボラ内での内部シミュレーションを一回ずつ行う。
- ・大きい災害が起きると情報が大切。311 ネットワークに講演をしてもらう。
- ・7/31(金)～8/2 日。第 1 回目ボラバス。子供たちを対象とし、小学生 5 人と高校生(横浜隼人高校)。現地の小学校にも声かけし話を聞く。

○港南

- ・どの場所にどの書類があり、何を持って行くか、など何度かシミュレーションしたがメンバーが変わると上手く引き継がれない。もう一度洗い直しをした。
- ・コーディネーターとなる人が各拠点までの道案内を的確にできるようにするために、歩いて把握していく。9 月からスタート。

○金沢

- ・関東学院の生徒を中心に「災害とは何か」のテーマで見なおしを行う。
- ・7/18～7/20、ボラバス。下は高校生から上は 78 歳。海の作業を手伝う。「やってあげる」ではなく、「あちらが望んでいることをやる」。五年計画で実施してきたため、来年度どう動くか。

○鶴見

- ・防災拠点との連携。小型無線を使用。33 台使って 7 ヶ所。9/6 の防災訓練の日にあわせて無線も行う。

次回:8 月 27 日(木)18:00～ 横浜市健康福祉総合センター 8 階 8F 会議室